

JR総連東北地方協議会主催 「松川事件現地学習」

10月27日、JR総連東北地方協議会主催「松川事件現地学習」に、仙台・盛岡・秋田・貨物の仲間と共に参加してきました。

＝そもそも松川事件って何??＝

松川事件とは、三大謀略事件（松川・下山・三鷹）の一つです。1949年に起きた事件で、青森発奥羽線回り上野行き第412列車が、福島県信夫郡金谷村地内権現山のカーブで脱線転覆した事件です。事件は何者かによってレールが外され、脱線事故が発生し、乗務員3名が死亡。大量人員整理のため首切りに反対し、終戦後に勢力を増していた共産党や国労を弾圧するために、罪のない当時の国労組合員や東芝松川工場組合員が犯人だと仕立て上げられ、20人も逮捕された事件です。その後、無実の証拠を隠され、犯行をでっち上げられましたが、1300人の守る会を家族と多くの労働組合、市民と結成し、14年間という長い間たたかい続け、死刑判決を含む有罪判決から全員無罪を勝ち取った事件でもあります。



★参加者からの感想★

- ・権力は目的達成のためなら何でもやってくるし、邪魔なものは排除してくることを知った。
- ・労働者に向けられた攻撃であるし、事件を事件として学ぶのではなく本質を学ぶことが重要。
- ・労働者の立場を自覚して、権力に立ち向かうことが必要だと感じた。
- ・労働運動の弾圧を人の命を奪ってやってくる。自分なら14年もたたかえるのかと感じた。
- ・人の命を奪い、権力はまるで私たちを捨て駒かのように扱う。
- ・やりたいことのためにここまでやってくるのかと憤りを感じる。

不当な弾圧を許さず、信じあえる仲間と共にたたかおう！！
事件の本質を学び、伝え広めていこう！！

